

老朽化対策

学校施設の老朽化対策として、各施設ごとに小規模な長寿命化改修工事や給食施設の施設集約を実施します。



校舎棟

建築後60年を目途に外壁改修・屋上防水・給排水設備機器などの部分改修や更新を中心とする小規模な長寿命化改修を実施し、改修後10年～15年を目途に使用期間を延長

学校プール

老朽化した学校プールは、民間プールの利用を第一に検討した上で、民間プールの受け入れが困難な場合は改修や更新を実施

給食施設

各学校の単独調理場は施設集約を進め、すべての学校に給食センターから配食できるように施設整備

屋内運動場

原則、校舎棟の長寿命化改修工事と併せて改修工事を実施

小規模学校の再編・統合

老朽化した校舎棟の建て替えを見据えて、1学年が2学級以上の標準規模化を図るため、学校再編・統合を進めます。
学校再編・統合の対象地区は、下記のとおりです。

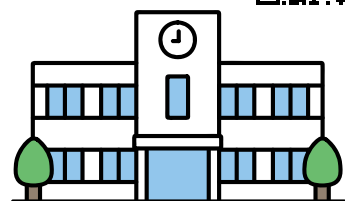
第1期
(2038年まで)

千代田地区
祖父江地区
平和地区

第2期
(2034年から
2048年まで)

稲沢地区
明治地区

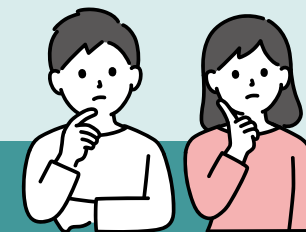
詳しい計画の内容は市ホームページまたは、各支所・市民センターで公開している資料を確認してください。



建て替えの流れ

期間	そのまま建て替える場合		再編・統合により学校を新築整備する場合
地域の合意を得るまで	↓ 合意形成後		(仮称) 地域協議会の設置（PTA、地域代表、学校など）、再編・統合の方向性やスケジュール・設置場所・跡地利用などの検討
1年			新しい学校づくりに向けた基本構想の策定
2年	建築設計 (基本・実施)	建築設計 (基本・実施)	(仮称) 学校開校準備委員会の設置、教育課程・教育目標・校名・校歌・校章・校則・通学等安全対策・記念行事・閉校式・開校式の検討
2～3年	建築		
開校			

皆さんが気になる疑問にお答えします！



Q1. 学校施設はいつ建て替えるの？

→ 建築後60年で長寿命化、その後10～15年で建て替えを目指します。

施設の老朽化状況を考慮して計画します。ただし、同時期に建て替えることが財政上困難なため、建築後60年を目途に小規模な長寿命化改修工事を行い、改修工事後10～15年を目途に建て替えを行うことで、建て替え時期を分散し、財政負担の平準化を図ります。

Q2. 全ての学校を建て替えるの？

→ いいえ、全ての学校の建て替えは行いません。

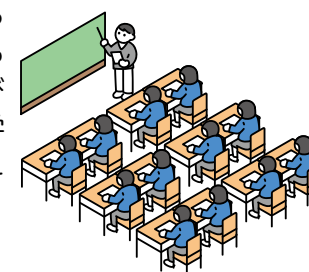
学校施設の建て替え時期に合わせて、標準規模(1学年2学級以上)に満たない学校については、再編・統合を進めるため、全ての学校を建て替えることは考えていません。

再編・統合にあたっては、児童生徒、保護者、地域住民に、活力ある学校教育の展開と新しい時代の学びを実現する学校施設整備について丁寧に説明し、理解と納得を得ながら進めていきます。

Q3. 小規模な学校の方がきめ細やかな指導が行いやすいのでは？

→ より良い教育環境のために一定の規模は必要と考えます。

現状でも1学年1学級の小規模校は複数あり、小規模校の特性を活かした教育活動が行われています。しかし、今後更なる少子化が進むことで、集団での学びや学校行事などの教育活動を十分に行えなくなる恐れがあり、子どもたちのより良い学びのために、一定の学校規模は必要と考えています。



Q4. 学校再編・統合で通学距離が遠くなる場合の対策は？

→ スクールバスなどの通学支援を実施します。

通学が困難となる場合には、通学路の整備やスクールバスなどの通学支援を実施します。



計画の説明会を開催します

市民の方を対象に、計画の概要や策定の背景、施設の整備イメージなどを説明します。

時 1月13日(祝)、午前10時～11時30分

場 勤労福祉会館多目的ホール

定 300人(先着)

申 当日、午前9時30分に会場へ

